

タカラスタンダード株式会社

2025年3月期

決算説明資料

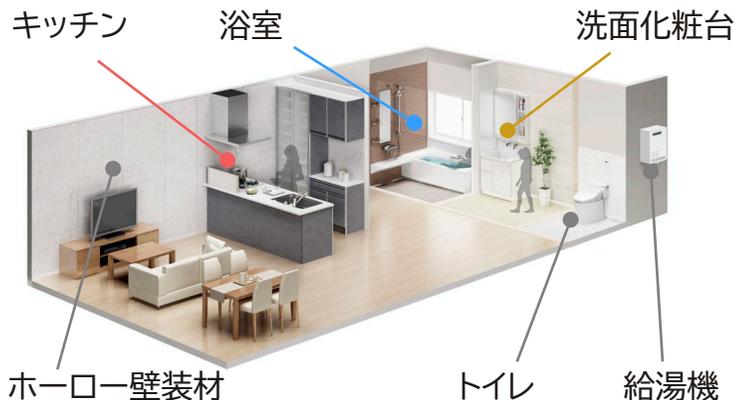
2025年5月8日

証券コード
7981

水まわりって、大切だから

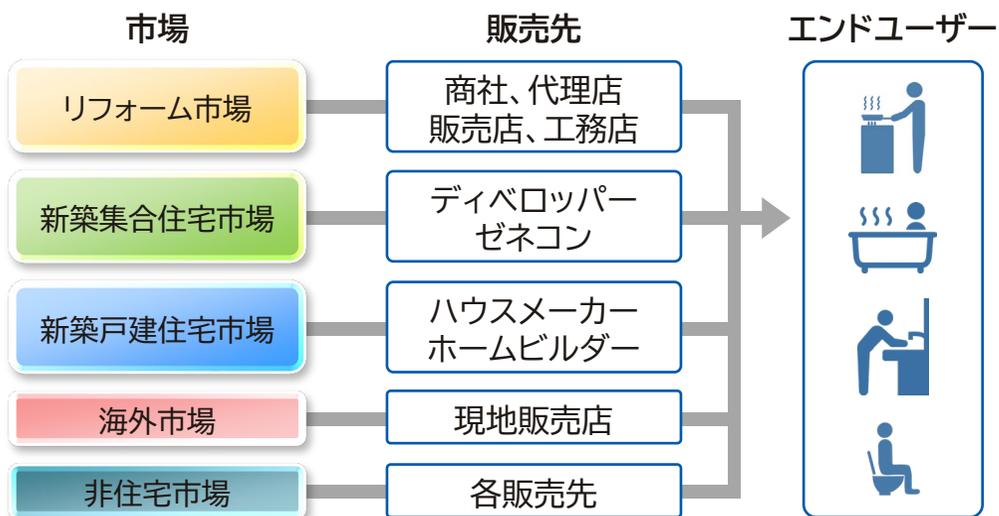
Takara standard

独自素材「高品位ホーロー」を使った製品などを展開する総合住宅設備機器メーカー

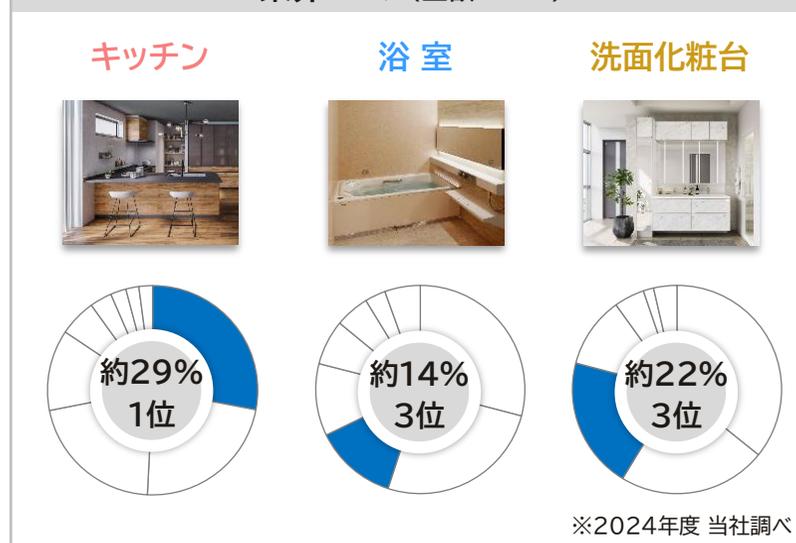


社名	タカラスタンダード株式会社
本社	大阪市城東区嶋野東1-2-1
創業	1912年5月30日
代表取締役社長	小森 大
上場証券取引所	東証プライム (7981)
業績	売上高:2,433億円 営業利益:156億円 (25年3月期)
従業員数	6,560名 (25年3月末)

リフォーム市場、集合住宅市場、新築戸建市場を中心に事業を展開



業界シェア(金額ベース)



2025年3月期 通期実績

売上高は**過去最高**、営業利益は前期比**25%超の伸び**、ROEは5.8%に上昇

売上高:2,433億円(前期比+3.7%)、営業利益156億円(同+25.8%)

- 新築向けが戸建・集合とも好調に推移し増収
- 増収に加え、価格改定効果、在庫圧縮などの合理化・コストダウンも寄与し大幅増益

2026年3月期 業績予想

売上高および各利益とも**過去最高**を予想

売上高:2,470億円(同+1.5%)、営業利益172億円(同+10.0%)

- リフォーム市場への拡販、生産の合理化・在庫圧縮などによる経費削減

ROE8%のステップとして**6.7%**目標

株主還元

期末配当を**50円**に**増配**し、年間配当は78円(配当性向**47.8%**)

- 来期以降は利益成長に伴う累進配当かつ**配当性向50%**にアップデート
- 自己株式取得は今後2年で約**220億円**を計画(**総還元性向130%**水準)

※株主還元の詳細は本資料と同日(25年5月8日)に公表した「ROE8%の達成に向けた新株主還元方針と利益成長の取り組み」をご覧ください。

1. 2025年3月期 決算概要 P. 4 ~ 10
2. 2026年3月期 業績予想 P. 12 ~ 19
3. Appendix P. 21 ~ 28

売上高は4期連続で過去最高を達成。増収に加え、価格改定効果による売上総利益の改善や合理化・コストダウンが寄与し、各利益とも大幅に上昇。

(単位:億円)

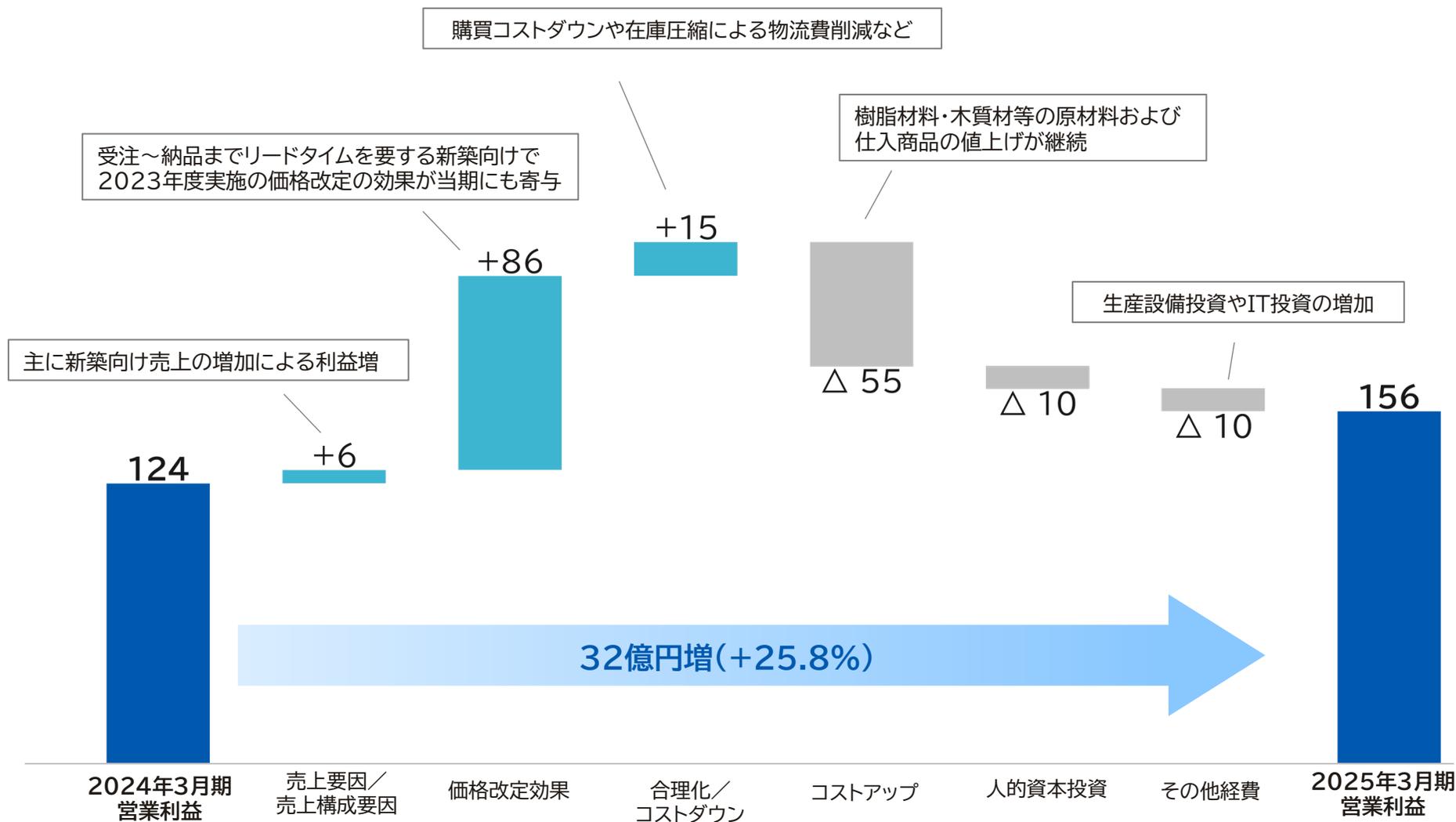
	2024年3月期		2025年3月期				2025年3月期 業績予想	
	金額	売上比	金額	売上比	増減	増減率	金額	業績予想比
売上高	2,347	100.0%	2,433	100.0%	+86	+3.7%	2,391	+1.8%
売上総利益	795	33.9%	845	34.7%	+49	+6.2%	—	—
販売費及び 一般管理費	671	28.6%	688	28.3%	+17	+2.5%	—	—
営業利益	124	5.3%	156	6.4%	+32	+25.8%	145	+7.8%
経常利益	127	5.4%	160	6.6%	+32	+25.1%	147	+8.9%
純利益※	95	4.0%	110	4.6%	+15	+16.7%	97	+14.3%
ROE	5.2%		5.8%					

※本資料における「純利益」は、親会社株主に帰属する当期(もしくは四半期)純利益を指す

営業利益の増減要因

Takara standard

(単位:億円)



市場別の売上高

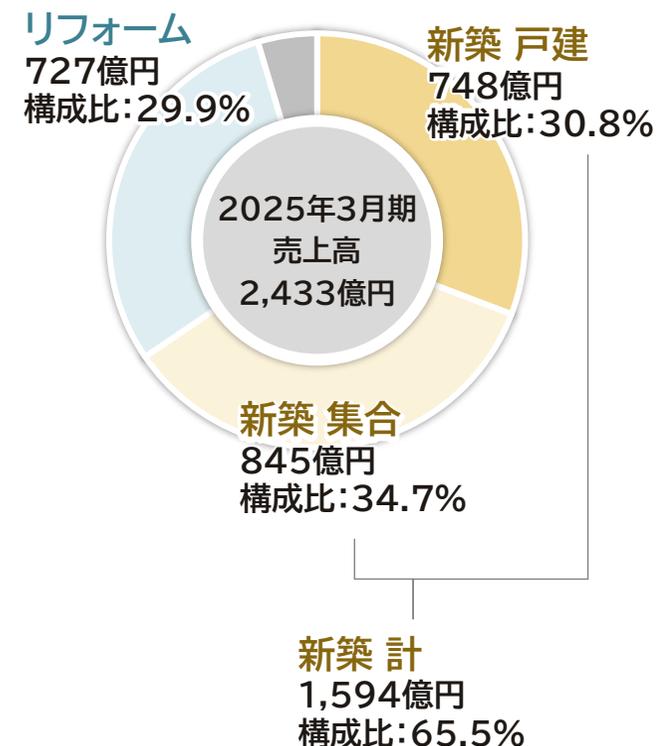
【新築(戸建)】 営業力強化に加え、2025年4月の建築基準法改正前の駆け込み需要も一部寄与

【新築(集合)】 底堅い都市部の需要や価格改定の効果

【リフォーム】 前期の価格改定に伴う駆け込み需要の反動もあり減収となったものの、下期は回復基調

(単位:億円)

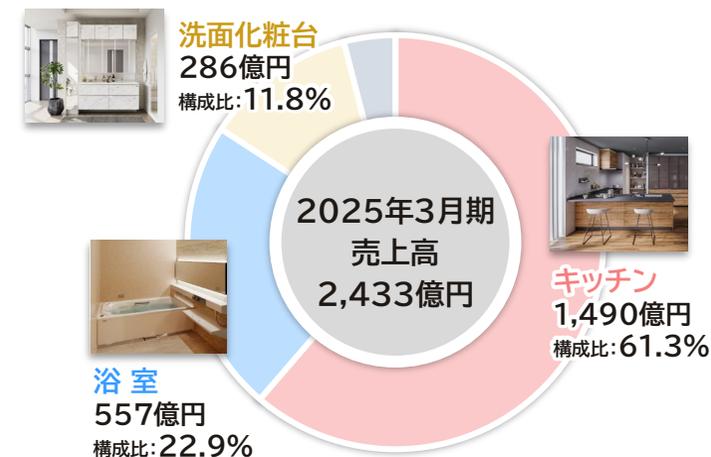
		2024年3月期		2025年3月期			
		金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
新築	戸建	704	30.0%	748	30.8%	+44	+6.3%
	集合	763	32.5%	845	34.7%	+81	+10.7%
	計	1,467	62.5%	1,594	65.5%	+126	+8.6%
	リフォーム	767	32.7%	727	29.9%	△40	△5.3%
その他共 計		2,347	100.0%	2,433	100.0%	+86	+3.7%



各製品部門とも、前期を超える売上高で着地。特に新築集合市場で高シェアのキッチン・洗面化粧台は、同市場への販売が好調に推移したことにより大幅な増収。

(単位:億円)

	2024年3月期		2025年3月期			
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
キッチン	1,417	60.4%	1,490	61.3%	+73	+5.2%
浴室	550	23.5%	557	22.9%	+7	+1.3%
洗面化粧台	273	11.7%	286	11.8%	+13	+4.8%
その他共計	2,347	100.0%	2,433	100.0%	+86	+3.7%

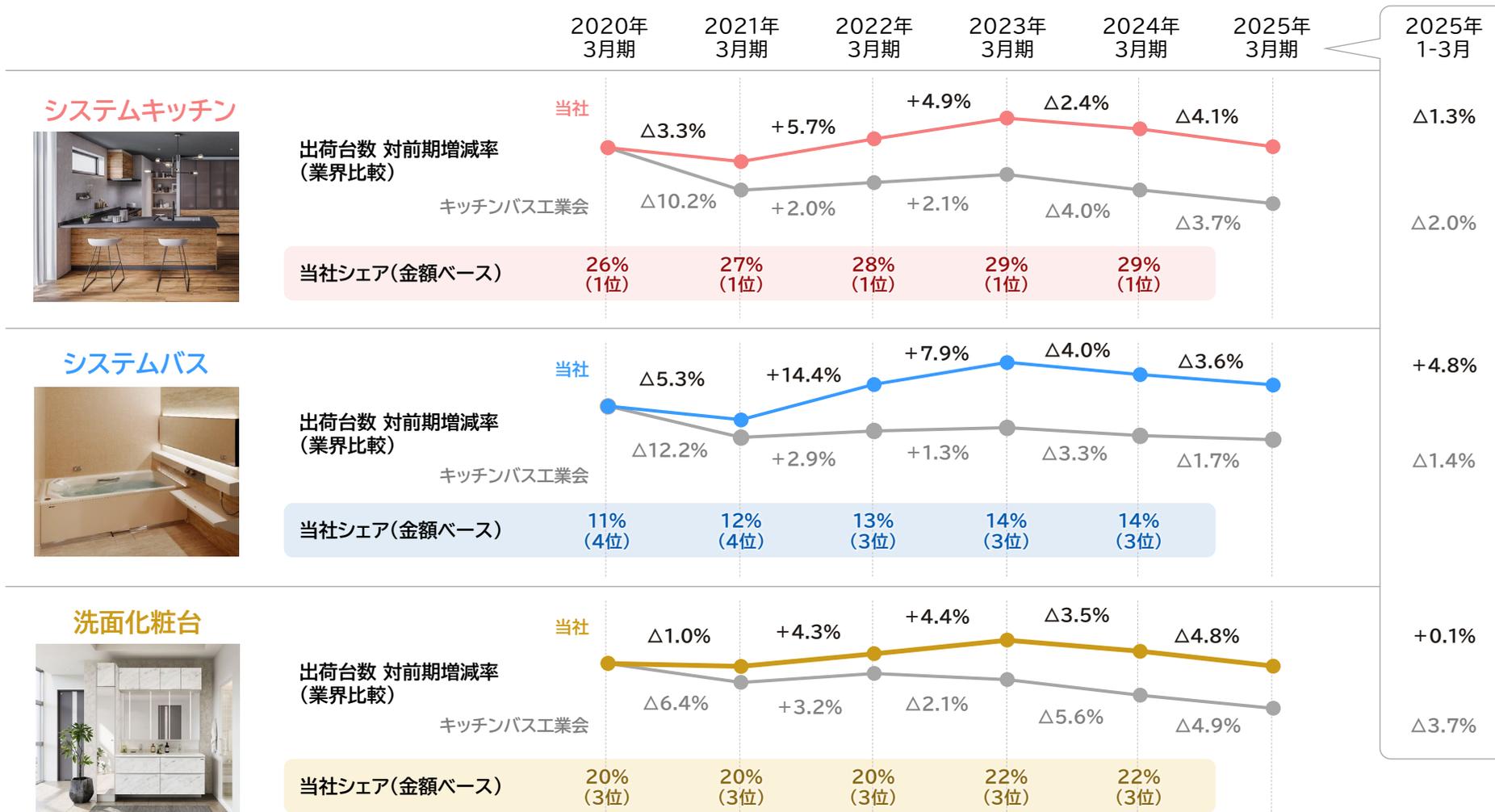


【内数】

パネル関連売上	70	3.0%	69	2.9%	△1	△1.6%
海外事業売上	11	0.5%	11	0.5%	△0	△3.5%

出荷台数増減率 及び 当社シェアの推移

出荷台数の対前期増減率は業界(キッチン・バス工業会)に対し、前期の価格改定に伴う駆け込み需要の反動もあり、やや低調に推移。一方、その影響が無くなった足元は、業界を上回る出荷台数で推移。



※キッチン・バス工業会の台数増減率は、システムキッチン合計、システムバス合計、洗面化粧台合計の対前期増減率を記載
 ※業界シェアは当社調べ

貸借対照表

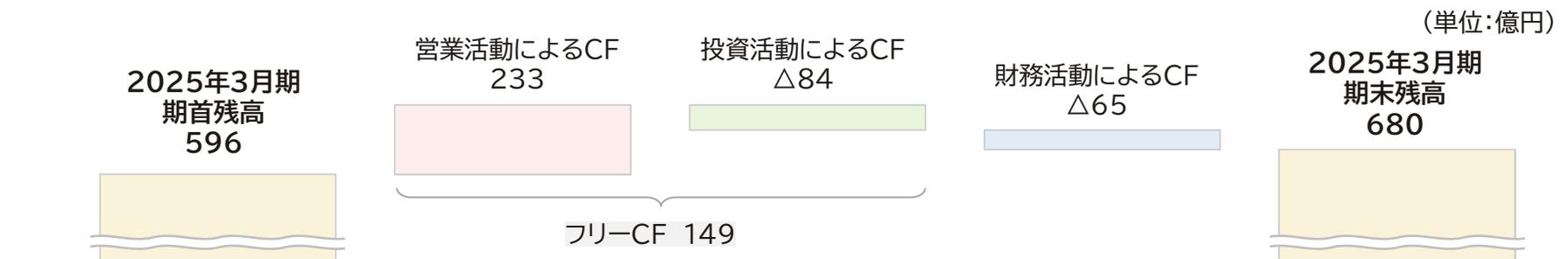
Takara standard

(単位: 億円)

		2024年 3月末	2025年 3月末	増減	主な内容	
資産	流動資産	1,549	1,603	+54	現金及び預金 棚卸資産	+83 △31
	固定資産	1,137	1,165	+28	有形固定資産	+24
資産合計		2,686	2,769	+82		
負債	流動負債	612	630	+18	仕入債務 短期借入金	+25 △9
	固定負債	200	193	△6	退職給付に係る負債	△7
負債合計		812	824	+11		
純資産		1,873	1,945	+71	当期純利益 自己株式の取得 剰余金の配当	+110 △18 △37
負債純資産合計		2,686	2,769	+82		

キャッシュ・フローの状況

営業CFは、前期は一部の購入先等への支払いを早期化したことによる仕入債務の減少によりマイナスだったが、当期は好調な業績を背景に233億円となった。その結果、FCFは149億円を創出。



	2024年 3月期	2025年 3月期	主な内容	
現金及び現金同等物の期首残高	803	596		
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13	233	税金等調整前当期純利益	158
			減価償却費	75
投資活動によるキャッシュ・フロー	△116	△84	有形固定資産の取得による支出	△96
			有形固定資産の売却による収入	13
フリーキャッシュ・フロー	△129	149		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△77	△65	配当金の支払額	△37
			自己株式の取得による支出	△18
			短期借入金の減少	△9
現金及び現金同等物の期末残高	596	680		

1. 2025年3月期 決算概要 P. 4 ~ 10
2. 2026年3月期 業績予想 P. 12 ~ 19
3. Appendix P. 21 ~ 28

国内経済

堅調な設備投資やインバウンド需要の増加などを背景として、引き続き緩やかな回復基調で推移。一方、物価高の継続に伴う消費マインドの低下懸念や米国の政策動向など、先行きは不透明な状況。原材料価格については、足元では落ち着いてはいるものの、引き続き高止まりしている。

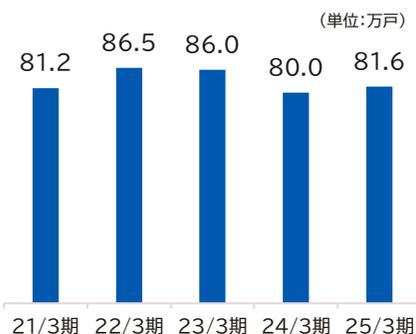
住宅市場

新築市場は人口減少に伴う着工戸数の減少トレンドに加え、住宅価格の高騰や住宅ローン金利の上昇による需要低下も懸念。

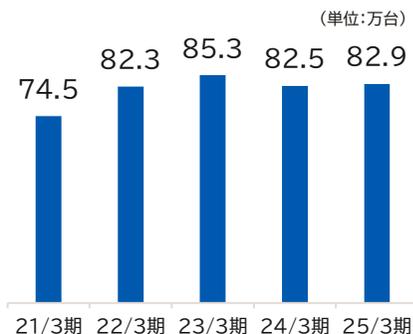
リフォーム市場では豊富な住宅ストックを背景に市場成長が見込まれるものの、資材価格の高止まりや職人不足などによる需要減少や業界内での更なる競争激化が懸念。

業界の動向

新設住宅着工戸数(国土交通省)

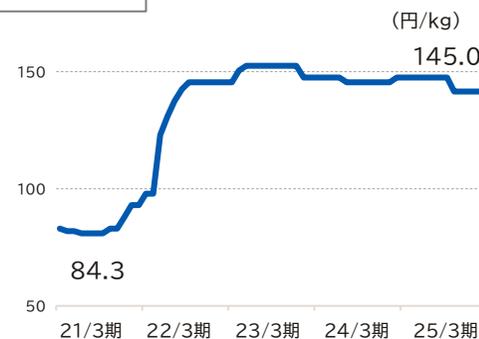


リフォーム市場へのキッチン・浴室の出荷台数(キッチンバス工業会)



主な資材の市況

冷延鋼板



ナフサ

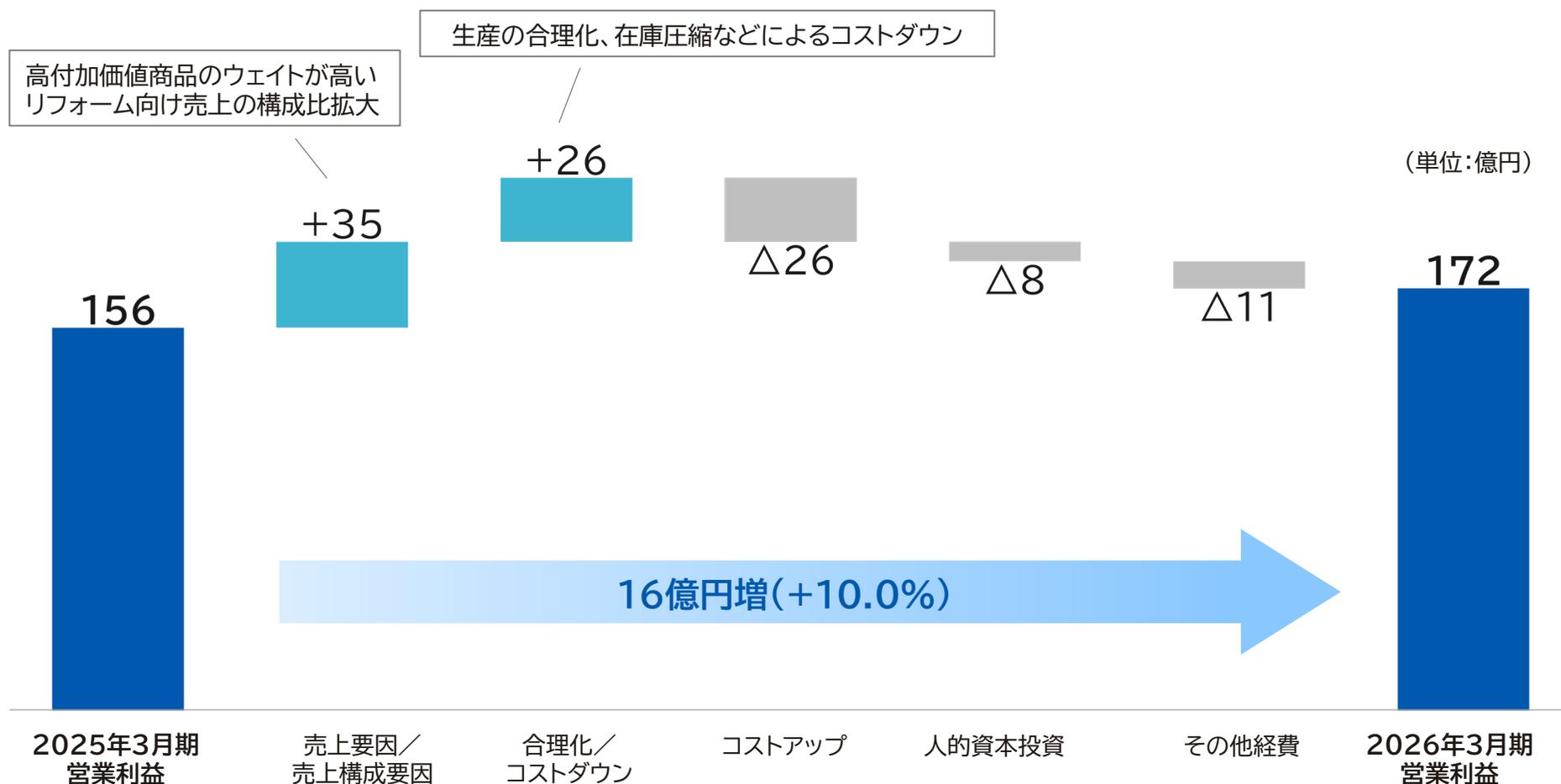


新築市場向けは好調だった前期並みの売上を確保しつつ、リフォーム市場向けでの「商品力の強化」、
「提案力の強化」を更に推進。また、経費の増加はあるものの、合理化を進めることで、増収増益を目指す。
ROE予想は6.7%。業績を向上させつつ、株主還元的大幅拡充により純資産の圧縮を進める。

(単位:億円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	増減	
			金額	増減率
売上高	2,433	2,470	+36	+1.5%
営業利益	156	172	+15	+10.0%
営業利益率	6.4%	7.0%	+0.5P	—
経常利益	160	175	+14	+9.3%
当期純利益	110	128	+17	+15.4%
ROE	5.8%	6.7%	+0.9P	

足元で回復基調のリフォーム向けの売上増加、新築向けの利益率向上、中期経営計画の基本戦略の推進による収益力向上(費用削減)によって利益は増加。



2026年3月期の設備投資は123億円を計画

生産性の向上及び更なる成長を目的に、生産関連投資で76億円、その他IT関連投資などを含め、積極的な投資を計画。

(単位:億円)

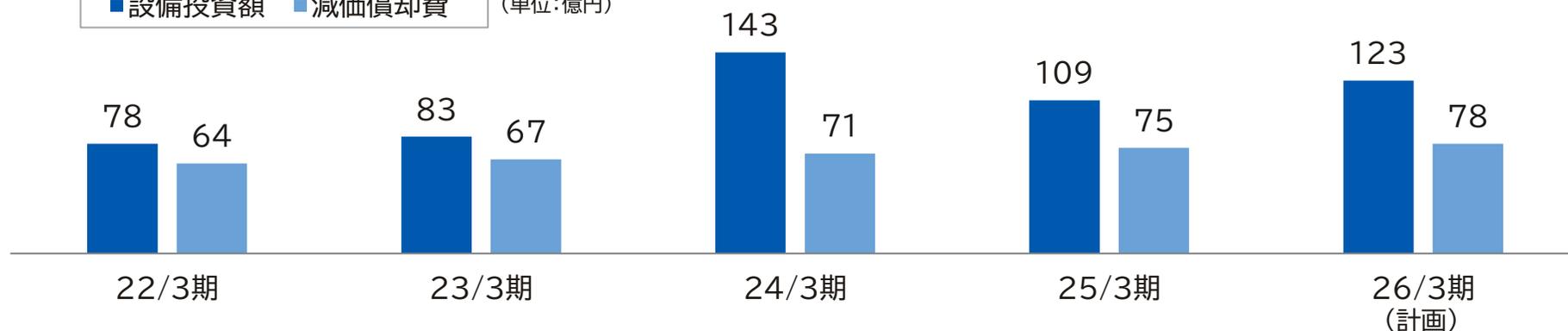
	2026年3月期 計画
設備投資額	123
減価償却費	78

(主な内訳)

(単位:億円)

項目	金額	主な内容
生産関連	76	自動化・省人化による生産効率化投資、生産設備の増設などの増産対応、他
システム関連	17	IT関連投資 (DX化の推進、他)
建物事務関連	16	オフィス環境整備、建物維持管理、他

■設備投資額 ■減価償却費 (単位:億円)



中期経営計画2026：ROE目標の改定

持続的な企業価値の向上に向けて、投資家・株主との対話も踏まえ、2027年3月期におけるROE目標を8%に変更する。長期的には、ROE10%以上を目指す。

	KPI	2027年3月期 (2026年度) ※中計最終年度	2031年3月期 (2030年度)
財務 指標	売上高	2,500億円	2,700億円
	営業利益	200億円	270億円
	営業利益率	8%	10%
	ROE	7 → 8%	8 → 10%
非財務 指標	CO2排出量(Scope1+2)	49,000tCO2 (対2020比▲15%)	41,000tCO2 (対2020比▲30%)
	従業員満足度	77%	80%
	女性管理職比率	10%	15%

株主還元：新株主還元方針の策定

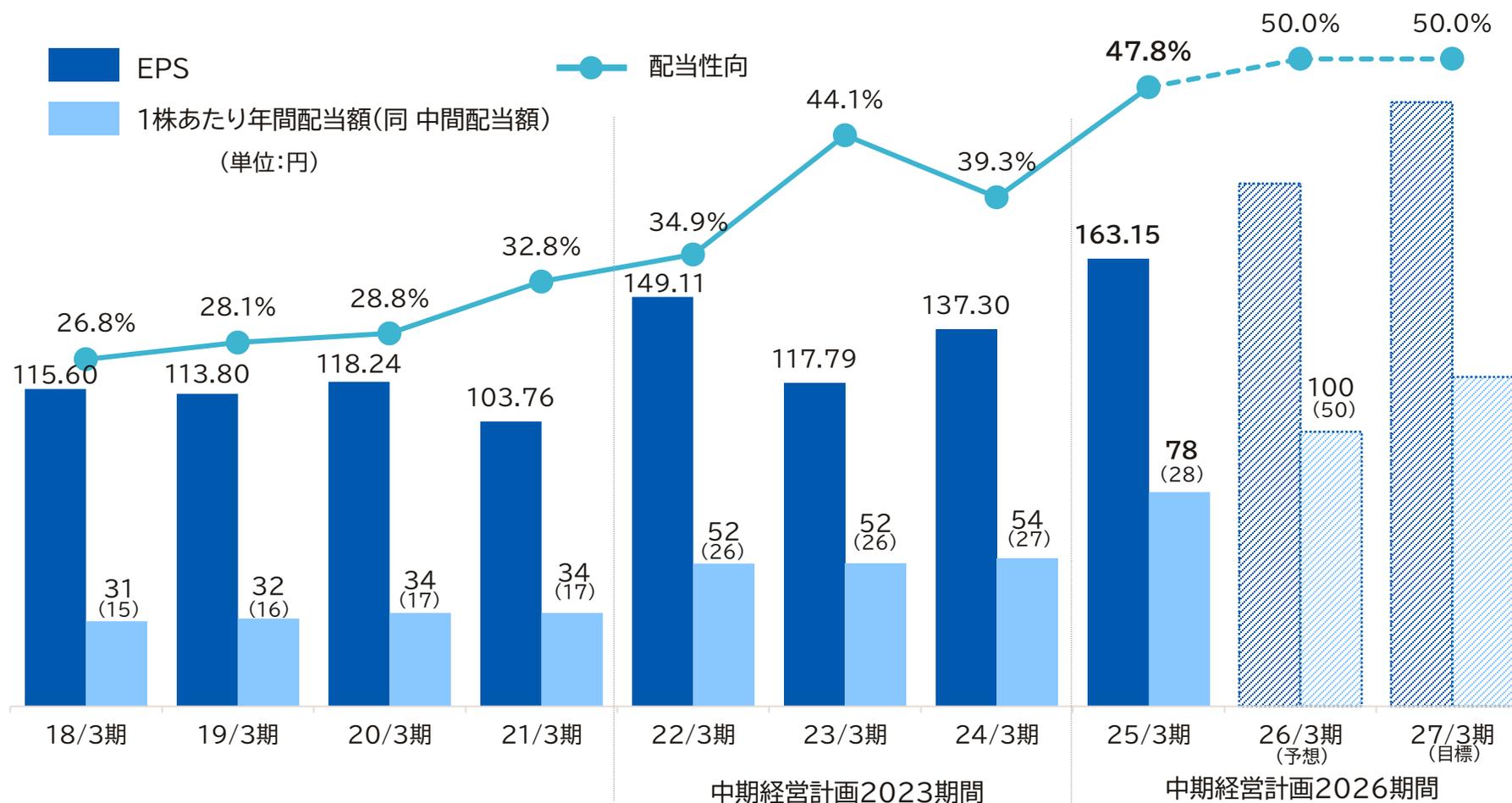
2027年3月期のROE8%の実現に向けて、株主還元方針をより積極的な内容に改定する。

		改定前 株主還元方針	改定後 新株主還元方針
株主還元方針	配当金	配当性向40% 利益成長に伴う累進配当	配当性向50% (現中計期間3年総額 約200億円) 利益成長に伴う累進配当
	自己株式取得	資本構成に応じた 機動的な自己株式の取得	26/3期~27/3期 約220億円の取得 (現中計期間3年総額 約240億円)
株主還元の考え方		持続可能な成長基盤の構築に向けて、成長投資や経営基盤強化等に資本を積極的に配分するとともに、財務の健全性を維持しながら、株主還元の充実を図る	(左記に加えて) 現中計期間においてROE8%実現に向けて、配当に加え自己株式の取得による株主還元も積極的に活用する

中計2026終了(2027年3月期)以降については、その時点での財務状況や投資案件によるものの、2031年3月期の**KPI(ROE10%)**や**株価向上**を強く意識して決定する。

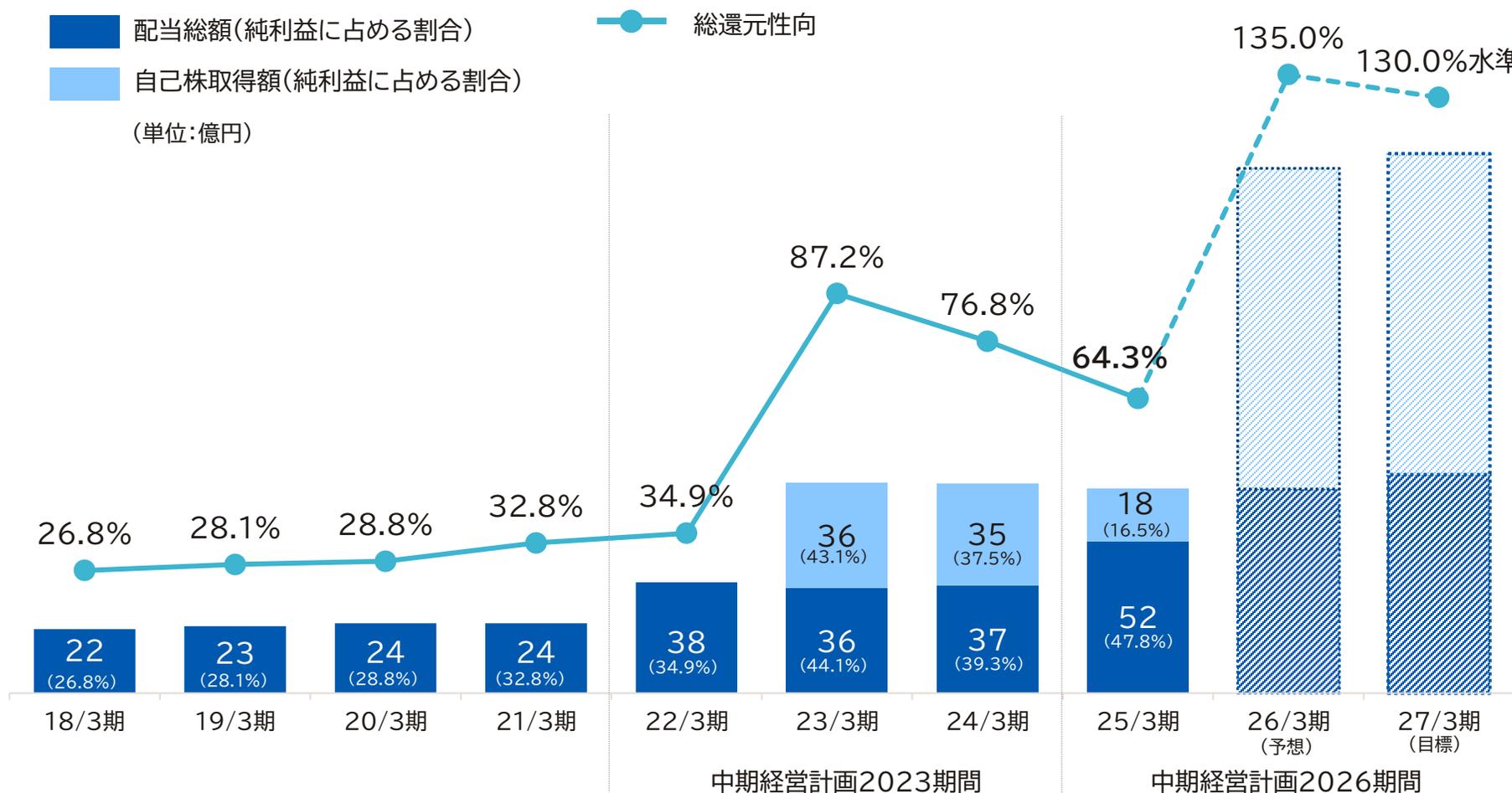
株主還元：配当性向

- ・ 25/3期末の1株あたり配当額について、当初想定28円から**50円に増配**し、年間配当額は78円。
- ・ 当社では従前から安定配当を基本に、記念配当を除き現在まで33期連続で減配なし。
- ・ 今後はこの考えを踏襲しつつ、より踏み込んだ政策として「**配当性向50%、利益成長に伴う累進配当**」に改定。
- ・ EPS成長を続けながら、直接的な株主還元も強く意識していく。



株主還元：総還元性向

- ・ 前中期経営計画期間から自己株取得を推進し、総還元性向は高水準で推移。
- ・ 一方、現状の財務状況を鑑み、目標ROE8%の達成、更には早期のPBR1倍クリアに向け、更に加速させる。
- ・ 来期および再来期は、純資産の縮減に向け、総還元性向の目標を130%に設定。



1. 2025年3月期 決算概要 P. 4 ~ 10
2. 2026年3月期 業績予想 P. 12 ~ 19
- 3. Appendix P. 21 ~ 28**

トピックス

初の海外拠点として「台湾支店」を設立し、
海外展開を更に加速する

- ・重要な市場の一つと位置付ける台湾において、現地代理店との関係強化を図り、更なる知名度向上のため、支店を設立。
- ・2030年度の目標である海外売上100億円の達成を目指す。

https://www.takara-standard.co.jp/files/news/RELEASE_20250227.pdf

国内最大級のホーロー研究開発施設
タカラスタンダード「R&D センター(仮称)」開設

- ・ホーロー技術の深耕や独自商品の創出などを目的とした研究開発拠点を26年6月に大阪府八尾市に開設。
- ・研究開発に特化した施設の開設は初めてとなり、更なる成長に向けた新製品や新技術の開発を行う。

https://www.takara-standard.co.jp/files/news/press_release/RELEASE_20250409.pdf

こども食堂の環境整備支援に賛同
長崎県のこども食堂のキッチンリフォームを支援

- ・未来を担うこどもを応援する「ALIAこども応援プロジェクト」を通じて、長崎県佐世保市でこども食堂を運営する「on℃(オンド)」のリフォーム支援として、プロジェクトで初めてキッチンを提供。

※ ALIA = 一般社団法人リビングアメニティ協会

https://www.takara-standard.co.jp/files/news/press_release/RELEASE_20250327.pdf

「プラチナくるみん」認定

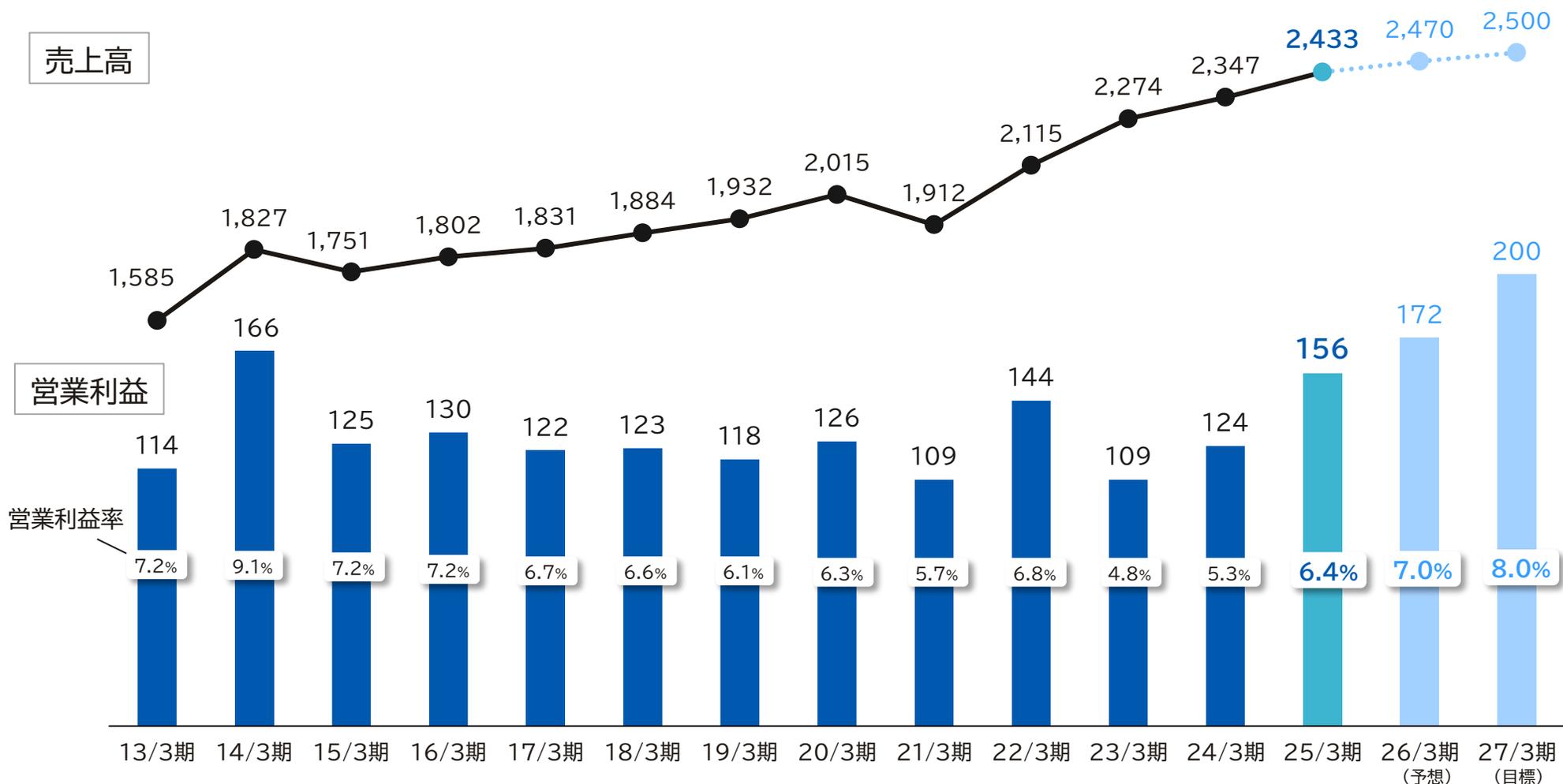


- ・高い水準で仕事と子育ての両立支援に取り組む企業として、厚生労働大臣より「プラチナくるみん」を認定。
- ・今後も人的資本に対する取り組みを更に進め、社員エンゲージメントの向上を目指す。

https://www.takara-standard.co.jp/files/news/press_release/RELEASE_20250225.pdf

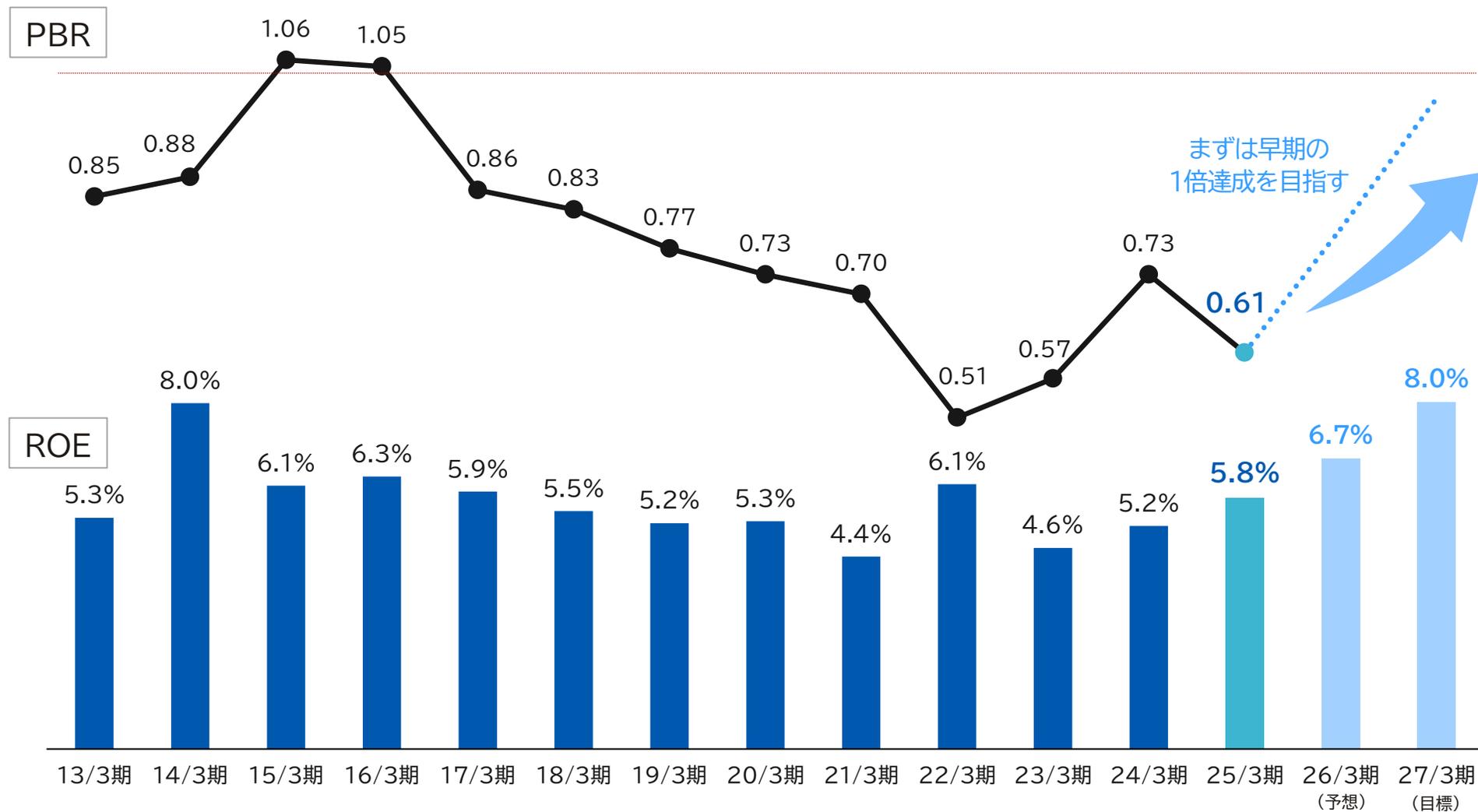
売上高 及び 営業利益の推移

(単位:億円)



※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」等を適用しており、2021年3月期は遡って適用した数値となっておりますが、2020年3月期以前の各数値は遡及適用しておりません。

ROE 及び PBRの推移



経営成績(四半期別対比)

(単位:億円)

	2025年3月期															
	1Q(4-6月)				2Q(7-9月)				3Q(10-12月)				4Q(1-3月)			
	金額	売上比	前期増減	前期比	金額	売上比	前期増減	前期比	金額	売上比	前期増減	前期比	金額	売上比	前期増減	前期比
売上高	573	100.0%	+0	+0.1%	586	100.0%	+11	+2.1%	683	100.0%	+36	+5.6%	590	100.0%	+37	+6.8%
売上総利益	197	34.5%	+6	+3.6%	198	33.9%	+5	+2.7%	242	35.5%	+18	+8.3%	206	34.9%	+18	+9.9%
販売費及び一般管理費	166	29.1%	+2	+1.7%	170	29.0%	+2	+1.7%	173	25.3%	+3	+2.0%	178	30.2%	+7	+4.7%
営業利益	30	5.4%	+4	+15.4%	28	4.9%	+2	+9.0%	69	10.1%	+15	+27.9%	27	4.7%	+10	+61.4%
経常利益	32	5.7%	+4	+14.2%	28	4.9%	+2	+8.8%	71	10.4%	+15	+27.7%	27	4.7%	+10	+59.6%
純利益	20	3.6%	+1	+7.7%	18	3.1%	△6	△27.7%	51	7.6%	+13	+35.7%	20	3.5%	+7	+61.7%

市場別の売上高(四半期別対比)

(単位:億円)

		2025年3月期															
		1Q(4-6月)				2Q(7-9月)				3Q(10-12月)				4Q(1-3月)			
		金額	売上比	前期増減	前期比	金額	売上比	前期増減	前期比	金額	売上比	前期増減	前期比	金額	売上比	前期増減	前期比
新築	戸建	171	29.9%	△4	△2.3%	176	30.0%	+7	+4.4%	200	29.3%	+9	+5.1%	201	34.0%	+31	+18.3%
	集合	182	31.8%	+25	+15.9%	203	34.8%	+17	+9.2%	239	35.1%	+24	+11.4%	219	37.1%	+15	+7.5%
	計	353	61.6%	+21	+6.3%	379	64.8%	+24	+6.9%	440	64.4%	+34	+8.5%	420	71.2%	+46	+12.4%
	リフォーム	194	33.9%	△19	△9.2%	179	30.7%	△13	△6.7%	212	31.0%	+0	+0.1%	141	23.9%	△7	△5.3%
	その他共計	573	100.0%	+0	+0.1%	586	100.0%	+11	+2.1%	683	100.0%	+36	+5.6%	590	100.0%	+37	+6.8%

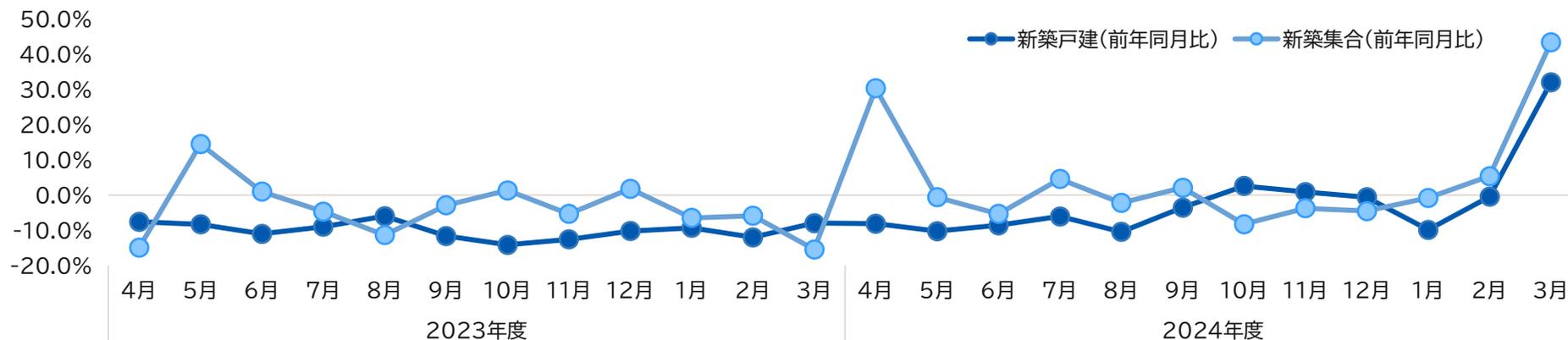
製品部門別の売上高(四半期別対比)

(単位:億円)

	2025年3月期															
	1Q(4-6月)				2Q(7-9月)				3Q(10-12月)				4Q(1-3月)			
	金額	売上比	前期増減	前期比	金額	売上比	前期増減	前期比	金額	売上比	前期増減	前期比	金額	売上比	前期増減	前期比
キッチン	342	59.7%	+1	+0.4%	359	61.3%	+19	+5.8%	416	60.9%	+23	+6.1%	372	63.2%	+28	+8.3%
浴室	142	24.9%	△0	△0.3%	136	23.3%	△5	△3.7%	159	23.4%	+7	+5.1%	118	20.1%	+5	+4.5%
洗面化粧台	64	11.3%	+1	+3.1%	67	11.5%	+0	+0.3%	81	11.9%	+6	+8.4%	73	12.4%	+4	+6.8%
その他共計	573	100.0%	+0	+0.1%	586	100.0%	+11	+2.1%	683	100.0%	+36	+5.6%	590	100.0%	+37	+6.8%
【内数】																
パネル関連売上	16	2.9%	△1	△7.3%	17	2.9%	+0	+0.3%	19	2.9%	+0	+0.4%	16	2.8%	+0	+0.0%
海外事業売上	2	0.5%	△0	△17.4%	3	0.5%	+0	+15.9%	2	0.4%	△0	△8.0%	2	0.4%	△0	△0.6%

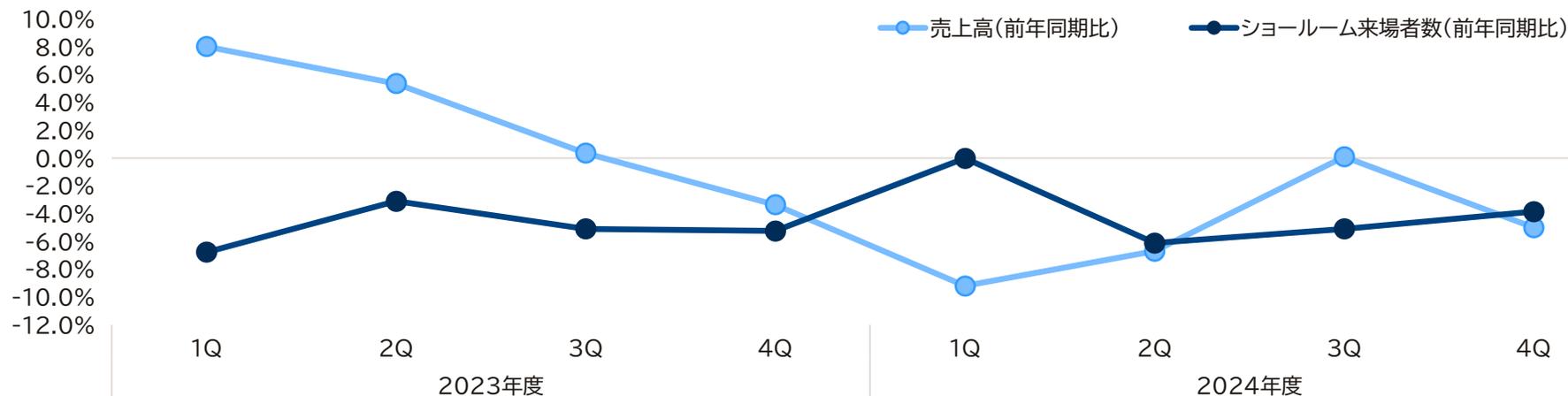
市場別の関連データ

● 新築戸建・集合 関連データ (国内における新築着工数の前年比)



※国土交通省「建築着工統計調査」を一部編集

● リフォーム 関連データ (当社のリフォーム関連データ、詳細は欄外記載)



※データはすべて当社のリフォーム市場向け販売に該当する指標。詳細は以下。
 売上高:当社におけるリフォーム市場向け売上高
 ショールーム来場者数:当社ショールームにリフォーム目的で来場された顧客数

2026年3月期 業績予想(上期・下期)

(単位:億円)

	2026年3月期													
	上期予想					下期予想					通期予想			
	金額	売上比	前期増減	前期比	構成比	金額	売上比	前期増減	前期比	構成比	金額	売上比	前期増減	前期比
売上高	1,185	100.0%	+25	+2.2%	48.0%	1,285	100.0%	+10	+0.8%	52.0%	2,470	100.0%	+36	+1.5%
営業利益	74	6.2%	+14	+24.2%	43.0%	98	7.6%	+1	+1.3%	57.0%	172	7.0%	+15	+10.0%
経常利益	76	6.4%	+14	+23.8%	43.4%	99	7.7%	+0	+0.3%	56.6%	175	7.1%	+14	+9.3%
当期純利益	55	4.6%	+16	+41.6%	43.0%	73	5.7%	+0	+1.3%	57.0%	128	5.2%	+17	+15.4%
ROE											6.7%		+0.9P	

< IRお問い合わせ先 >

タカラスタンダード株式会社

管理本部 IR部

TEL

06 - 6180-6677

E-mail

ir@takara-standard.co.jp

水まわりって、大切だから

Takara standard

本資料は、2025年5月8日現在の計画に基づく予測が含まれています。これらの計画と予測は、リスクや不確定要因を含んだものであり、実際の業績が当社の計画と異なる結果となる可能性があります。